

「芸術の源泉」としての三保松原と美術

三保松原は、ユネスコ世界遺産「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産の一つとして登録されました。特に、三保松原は、芸術の源泉としての価値が大きいといえます。日本の近代洋画の礎を築いた一人であり、東京美術学校(現東京藝術大学)の校長を務めた和田英作は、三保からの富士山の風景に感銘を受けて、晩年の約8年間を三保で暮らし多くの作品を残したことで知られています。三保松原の魅力と世界遺産としての意義を美術の視点から語ってもらいます。

三保松原学シンポジウム2016

第1部 講演 (45分)

東京藝術大学教授

工藤晴也

第2部 トークディスカッション (45分)

工藤晴也 × 泰井良

東京藝術大学教授/中国浙江師範大学美術学院招聘教授 兼務。元国際モザイク作家協会会長。世界遺産ガラ・プラチディア廟モザイク壁画保存修復調査研究。主な作品:皇居御所(御浴室)象嵌モザイク、東京ステーションホテルレストランモザイク壁画(東京駅) 他。

静岡県立美術館上席学芸員。専門は近代美術史、明治の美術、ロダンなど。和田英作についての論文もある。

司会：本阿弥 清 三保松原学コーディネーター。専門は現代美術。

入場無料

同時開催 **入場無料** 三保松原ゆかりの美術展

会場 マリナート1階 (ギャラリーA)

会場 平成28年11月4日(金)～6日(日) 金/12:00～18:30 日/9:00～11:30

平成28年

日時

11月5日 土

午後6時30分～8時10分

開場/午後6時10分 ※休憩10分含む

会場

マリナート (静岡市清水文化会館)小ホール
※JR清水駅東口 徒歩3分

連絡先

〒424-0901 静岡市清水区三保1282-1

TEL. 054-334-1236

Email zr7y3v@bma.biglobe.ne.jp

www.1a.biglobe.ne.jp/artproject「三保松原学・文化講座」

傍聴・参加方法/定員250人 申し込み不要 先着順

主催/羽衣ルネッサンス協議会 (※静岡市内のNPO法人メンバーや市民有志が参加し運営する組織)

後援/静岡県、静岡市

※この講演会は、「文化遺産を活かした地域活性化事業」(平成28年度・文化庁)の助成を受けて行なわれます。